

ライトライン徹底解剖図鑑

あなたはもう、体感しましたか？

2023年8月、宇都宮のまちが変わりました。芳賀・宇都宮LRT（愛称ライトライン）の開業です。雷都を走る、未来へつなく、光の道筋。そんな意味が込められたライトラインは、構想20年、新規路面電車としては国内75年ぶり、そしてレールのない場所にゼロからLRTを新設する試みとしては、なんと日本初。その大きなチャレンジは、これからのまちづくりの参考として全国の注目を集めています。2024年の奇しくも2月22日に、利用者222万人を突破したライトライン。その使命は？そして魅力とは？あなたはもう、体感しましたか？

「宇都宮らしさ」を探せ

ライトラインのあちこちに「宇都宮らしさ」が隠れているをご存知でしょうか。シートの模様は、宇都宮の伝統工芸である「宮染め」をイメージしたもの。日よけを下ろせば、そこにも宮染めのイメージが！柄の一部はよく見ると「雷都・宇都宮」にちなんだ「雷様（らいさま）」の連続模様。座席の足元を見下ろせば、床は宇都宮名産の「大谷石」風の仕上げとなっています。座席の背面は荷物置き場になっており、立つて乗る方にも便利な工夫が凝らされています。



そしてその荷物置き場の内部には（もちろん、目には見えませんが）なんと砂が格納されています。雨の日など車輪が滑りやすいときに、必要に応じてレールに撒かれるのだとか。

快適な乗り心地の秘密

ライトラインに乗ったことのある皆さまは、最高時速 40km という速さにも関わらず、揺れが少なく静かな車内に驚かれたかもしれません。騒音や縦揺れの大きかったかつての路面電車とは一線を画する乗り心地ですが、それは優れた制振機能（揺れを制御する機能）が設計に取り入れられているから。また、線路には樹脂を取り入れるなど、静粛性と耐久性を高める工夫が凝らされています。車内に一歩足を踏み入れればわかる、開放感たっぷりの大きな窓もデザイン上の大きな特徴。窓際に座れば視界いっぱいに走行中の景色が一望でき、まるで自分がその景色の一部となったような感覚で乗車を楽しむことができるでしょう。

乗車定員 約160人

全長29.520m。まちに溶け込む、圧迫感のない車体には、意外なほど多くの定員が収容できます。通勤時間の渋滞の解消。そして過度なクルマ依存を減らし、運転できない人も市内を移動できる社会へ。ライトラインは、バス路線の再編と合わせて、こうした目標に向かって走ります。そのコンパクトでスマートな車体は、大きな使命を担っているのです。



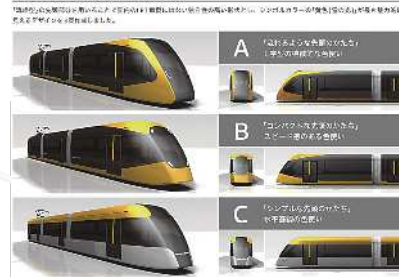
まちを走る、宇都宮のシンボル

現代日本を代表する建築家の一人、隈研吾氏のデザイン監修によって再開発された、東口交流拠点。この真新しい広場から、滑り出すように流麗な車体が出発していきます。それが牽引するのは、このまちの5年先、10年先のライフスタイルです。まちを東西方向に走るライトラインのレールは、新しい交通の基軸（背骨）。それに接続するバス路線は小骨。その間を補うのは地域内交通。こうした「魚の骨ネットワーク」が、ライトラインの沿線のみならず市内全体をカバーして、交通弱者を減らし、まちを活性化させていくという計画です。ストラスブール、ウィーン、ヘルシンキ、サンディエゴ…海外の先進事例や現在進行形の事例同様、ライトラインは宇都宮のまちの外観はもちろん、その中身や、私たちの行動スタイルをも、ポジティブなものに変えようとしているのです。もしまちでライトラインを見かけたら、ぜひそのことを思い起こしてみてくださいね。

動力源は100%再生エネルギー

動力は、地産地消。家庭ごみの焼却や家庭用太陽光などで発電された、地域由来の再生可能エネルギーをライトラインに供給します。CO₂の排出量は実質ゼロ。さらに、ライトライン利用でクルマの乗車が減れば、その分だけCO₂の排出量も減少します。世界でも類を見ない取り組みが、宇都宮市全体をクリーンにします。

芳賀・宇都宮のまちになる都市デザイン



専門性×市民参加

ライトライン等のトータルデザインは、日本を代表するデザインコンサルタント会社、GKデザイングループによるもの。さらに市民参加のアンケート（総数16,804票）を踏まえて、先端にかけてのこの特徴的なL字型デザインが誕生しました。



活況を呈した オープニング・イベント

開業イベントでは、私たち宇都宮市職員も、ブース出展などで来場の皆さまと交流させていただきました。その中で「乗継割引やバスの上限運賃制度を初めて知った」「こんなにおトクに？」との声も多く、まだまだ市内公共交通のPRを頑張らねばと感じた次第です。ぜひ、市Webサイトのチェックと、MOVE NEXT UTSUNOMIYA 公式Xのフォローをよろしくお願いします！



市のHP



公式X



Welcome Party(宇都宮市)の様子



Enjoy Day in 芳賀(芳賀町)の様子